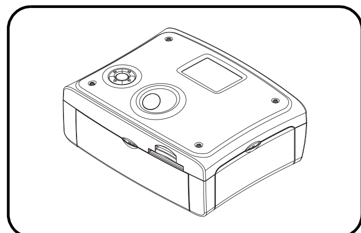
FUJIFILM

FinePix Printer IP-10

証明写真作成ガイド















このたびはFinePix Printer IP-10をお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この「証明写真作成ガイド」を必ずお読みください。
お読みになったあとは、この「証明写真作成ガイド」を大切に保管し、必要なときにお読みください。
詳しくは、同梱のCD-ROM に格納されている取扱説明書(PDF) をご覧ください。

目 次

日本語

安全上のご注意

安全にお使いいただくために

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

◆ **図記号の意味**

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分けし、説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性のあるもの
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

その表示と意味は次のようになっています。

	してはいけない禁止事項です。		分解しないでください。
	必ず実行していただく強制事項です。		水等でぬらさないでください。
	電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。		ぬれた手で触らないでください。
	指のケガに注意		手はさみ注意

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分けし、説明しています。

⚠ 警告

外装ケースを外したり、分解、改造をしない

火災や感電の原因となります。



落としたり、外装ケースを破損した場合は使わない

火災や感電の原因となります。



煙がでている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因になります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙がでなくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。



花びんやコップ、植木鉢などを上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。



異物を入れない（特にお子様にご注意を）

内部に金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードには触れない

感電の原因となります。



電源コードを傷つけない

- 引っ張らない
- 無理に曲げない
- 束ねない
- 加熱しない
- 加工しない
- 重いものをのせない

コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。



ACアダプターや電源コードは本機に付属のもの以外使用しない

火災や感電の原因となります。



本機に付属のACアダプターや電源コードは他の機器には使用しない

火災や感電の原因となります。



不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。



水でぬらさない

火災や感電の原因となります。

雨天、降雪中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は、特にご注意ください。



たこ足配線をしない

火災の原因となります。





注意

設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 湯煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所
- 熱器具の近く
- 締め切った自動車内など、高温になる場所

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどして、火災や感電、故障、変形の原因になることがあります。



本機の上に重いものを載せない



上に乗らない（特にお子様にご注意）

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがや故障の原因となることがあります。



使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

通電状態で放置すると、ショートや火災の原因となる場合があります。



接続したまま移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

ほこりなどがついたりコンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となります。



本機の通気孔をふさがない



指定された内部以外には手を入れない

手がはさまれ、けがの原因となることがあります。





風通しの悪いところ、狭いところに置かない

- 押し入れや本棚などに押し込まない
- じゅうたんや布団の上に置かない・テーブルクロスなどをかけない

内部に熱がこもり、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。



印刷中はペーパートレイを抜かない

印刷中は用紙が前後に移動します。手を触れるとけがの原因となることがあります。



火気の近くで使わない

火災の原因となる場合があります。

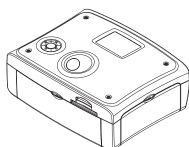


はじめに

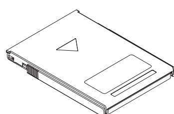
- プリンターをお使いになる前に、2ページ「安全上のご注意」をお読みください。
- 取扱説明書（PDF）の 88 ページにプリンタードライバ（付属）のソフトウェア製品使用許諾契約書が記載されています。

同梱品について

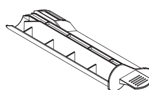
以下のものが同梱されているか、ご確認ください。



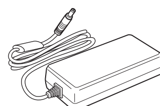
プリンター本体



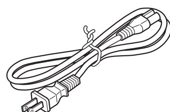
ペーパートレイ



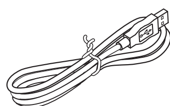
クリーナー



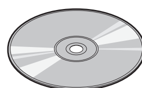
ACアダプター (AC-24V)



電源コード



USB延長ケーブル

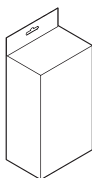


CD-ROM
・プリンタードライバ
・アプリケーション
・取扱説明書



証明写真作成ガイド

対応消耗品（別売）について



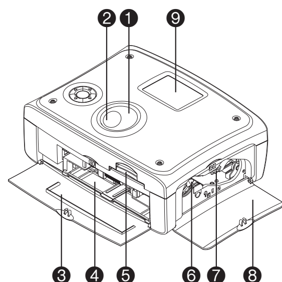
FinePix Printer専用インクカートリッジ・ペーパーセットプロ
100×150 mm　120枚　F-RP120P

ご注意

- この証明写真作成ガイドに記載されている「カメラ」とは赤外線通信やPictBridgeに対応したデジタルカメラなどのことです。

各部のなまえ

◆ 本機前面



❶ 電源ボタン
プリンターの電源を入／切します。電源を入れると電源ボタンの周りが点灯し、点灯パターンと色によってプリンターの状態が確認出来ます。
赤点灯→青点灯：起動中
青点灯：　プリント可能な状態です。
青点滅：　本機が以下の状態です。
● プリント中
● プリントデータの受信中
● メモリーカードにアクセス中
赤点灯：　本機が以下の状態です。
● 起動中
● プリントできないなどのエラーが起こっています。
赤点滅：　プリントできないなどのエラーが起こっています。
青赤交互点滅：
プリントできないなどのエラーが起こっています。

❷ 赤外線ポート
赤外線を受信します。

❸ ペーパートレイドア
ペーパートレイを入れるときに、開けます。
本機を使用しないときは、閉めておきます。

❹ ペーパートレイ挿入口
ペーパートレイを入れます。

❺ カードスロット
メモリーカードを差し込みます。

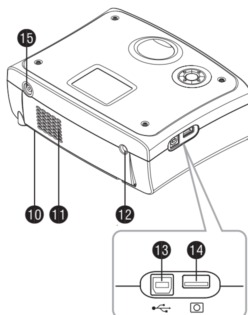
❻ インクカートリッジ挿入口
インクカートリッジを入れます。

❼ インクカートリッジ取り出しレバー
上に押して、インクカートリッジを取り出します。

❽ インクカートリッジドア
インクカートリッジを出し入れするときに開けます。プリントするときは閉めておきます。

❾ 液晶モニター
メニュー画面や画像の一覧が表示されます。

◆ 本機後面



❿ 一時排紙口
プリント中に用紙が一時排出されます。排出された用紙に触れないでください。

⓫ 通気孔
プリンター内部が高温になるのを防ぎます。

⓬ DC入力端子
ACアダプターのプラグを接続します。

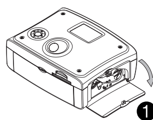
⓭ USB端子
USB ケーブル（市販品）でパソコンと接続するための端子です。

⓮ ダイレクトID/PictBridge用端子
USB ケーブル（カメラ用）でダイレクトID/PictBridge対応のカメラと接続するための端子です。

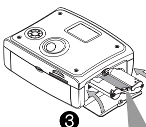
⓯ テレビ出力端子
ビデオケーブルでテレビに映像を出力するための端子です。

印刷する前に

1 インクカートリッジを入れる



❶

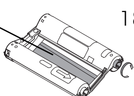


❷ インクカートリッジの矢印の刻印を上向きにして、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込む

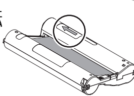
❸

インクリボンにたるみがないか確認する

- インクリボンに触れないようにしてください。

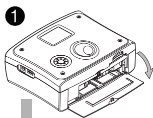


180° 回転

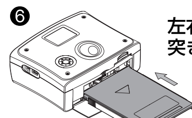


2 用紙をペーパートレイに入れる

❶



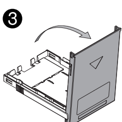
❻



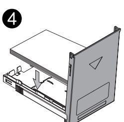
左右を持って、しっかり奥に突き当たるまで押し込む

❷ 上ぶたをスライド

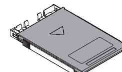
❸



❹



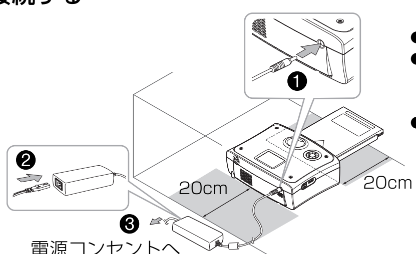
❺ 上ぶたを閉じる



用紙はプリント面（光沢面）を上にし、入れる

- 用紙をペーパートレイに入れる前に、保護シートを取り除いてください。
- プリント前に用紙のミシン目を折り曲げたり、切り離したりしないでください。
- プリント面に触れないようにしてください。

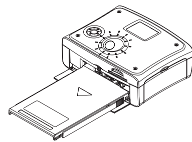
3 接続する



- プリンターは水平な場所に置いてください。
- プリンターの前・後面20cm以内には、物を置かないでください。プリント中に、前・後面から用紙が出たり入ったりします。
- プリンター内にゴミが入らないように、きれいな環境でお使いください。

4 起動中

電源ボタンのランプが赤色から青色に変わる（約 17 秒）と準備完了です。



証明写真をプリント

1つの画像をお好みのサイズ/レイアウトでプリントできます。

プリントについてのお知らせ

■ プリントの例外

画像縦横比1:3以上の場合は、プリントすることができません。

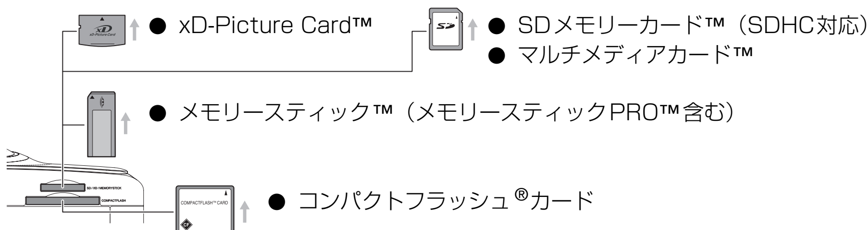
※画像縦横比10:1以上の場合は、表示することができません。





● 印刷される画像の品位は、プリンターで自動的に設定されます。フレームサイズに合わせて、撮影した画像を拡大・縮小するため、画像サイズとフレームサイズの組み合わせによっては、上下左右が切り取られて印刷されることがあります。

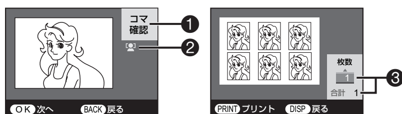
使用できるメモリーカードについて



● ダイレクトIDプリントのときは、必ずxD-Picture Cardを使用してください。

画面表示と操作ボタンについて

◆ 画面表示

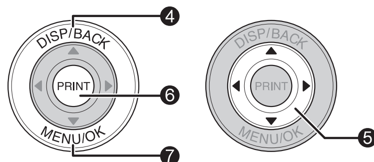


❶ **実行モード**
実行中の動作を表示します。

❷ **顔アイコン**
富士フイルム製カメラの「顔キレイナビ（顔検出機能）」を使って撮影された画像のみ表示します。
人物の顔が入っていない画像等は、顔アイコンが出ない場合があります。

❸ **プリント枚数**
プリント枚数を表示します。

◆ 操作ボタン



❹ **[DISP/BACK]ボタン**
表示を切り替えたり、前の画面に戻ったりします。

❺ **[▲ ▼ ◄ ►]ボタン**
画像の位置を調整したり、項目を選択したりします。

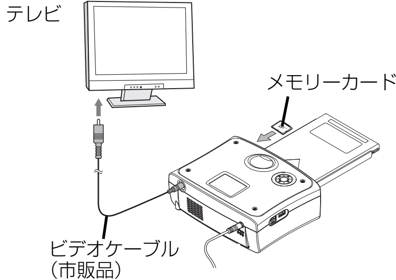
❻ **[PRINT]ボタン**
プリントを開始します。

❼ **[MENU/OK]ボタン**
メニュー画面に戻ったり、項目を決定します。

メモリーカードから証明写真をプリント(IDプリント)

本機をテレビに接続すると、テレビ画面で画像を確認することができます。

● 画像が映らない場合は、NTSC/PALの設定をしてください。→p. 16





● 同時に複数のカードを差し込まないようにしてください。
● 電源ボタンが点滅しているときは、メモリーカードを取り出したり、プリンターの電源を切ったりしないでください。

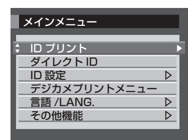
● 用紙とインクカートリッジをセットしておきます。→p. 7

1 本機の電源を入れる →p. 7

2 メモリーカードをカードスロットに入れる

● 本機の電源ボタンの周りが速い青点滅を繰り返します。
カードが正しくセットされると電源ボタンの周りが青点灯します。
● メモリーカードはカードスロットから少しはみ出している状態となります。

3 [▲ ▼]で「IDプリント」を選択し、[▶]を押す



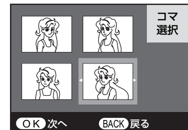
4 [▲ ▼]でお好みのサイズ/レイアウトを選択し、[▶]を押す

● サイズ/レイアウトの仕様はお好みに合わせて設定することができます。→p. 14



5 [◀ ▶]でプリントする画像を選択し、[PRINT]を押す

● **[MENU/OK]**を押すと、画像の確認や顔の位置の微調整、特殊補正/加工をすることができます。→p. 10～11



6 [▲ ▼]でプリント枚数を指定する



7 [PRINT] を押す

8 プリントが始まります

- 用紙が4回前後に往復し、用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が排出されると、プリント完了です。
- プリント後は用紙のミシン目で切り離してください。

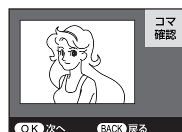
プリントする画像を確認する

本機ではプリントする画像を拡大したりして、確認することができます。

9ページの手順4のあと

5 [◄ ►] で確認したい画像を選択し、[MENU/OK] を押す

6 [MENU/OK] を押す



◆ 顔キレイナビ（顔検出機能）で撮影した画像について

弊社製カメラで「顔キレイナビ（顔検出機能）」を使って撮影した画像（画面に が表示されます）は、プリントする前に表情確認ができます。

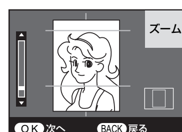


① **[MENU/OK]** を押す
② 顔付近が拡大表示された表情確認画面が表示されます
③ 確認後、**[MENU/OK]** を押す
- 手順7に進みます。
  前の画面に戻るには、**[DISP/BACK]** を押してください。



7 [▲ ▼] で大きさを調整する

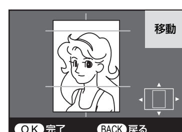
範囲を大きくする： **[▲]** を押す
範囲を小さくする： **[▼]** を押す



8 [MENU/OK] を押す

9 [▲ ▼ ◄ ►] で位置を調整する

- **[DISP/BACK]** を押すと、再び拡大することができます。



10 [MENU/OK] を押す

- 「プリントする画像を特殊補正または加工する」に進みます。→p. 11

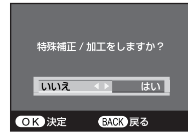
プリントする画像を特殊補正または加工する

本機ではプリントする画像ごとに特殊補正や加工をすることができます。

10ページ手順10のあと

11 [◀ ▶]で「はい」を選択し、[MENU/OK]を押す

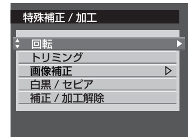
●「いいえ」を選択すると、9ページ手順6に進みます。



12 [▲ ▼]で特殊補正/加工メニューを選択し、[▶]を押す

特殊補正/加工メニューについて（→下記）

● 設定が終わると、9ページ手順6に進みます。



特殊補正/加工メニューについて

■ 回転

画像をお好みの向きに回転することができます。

■ トリミング

プリントする範囲を変更し、画像を拡大することができます。

■ 画像補正

画像をお好みの明るさや鮮やかさに色合いを補正することができます。

■ 白黒/セピア

画像を白黒やセピア色（茶色がかった色調）に変換することができます。

■ 補正/加工解除

設定した補正や加工を解除することができます。

詳しくは、取扱説明書（PDF）の30～31ページ「特殊補正/加工メニューについて」をご覧ください。

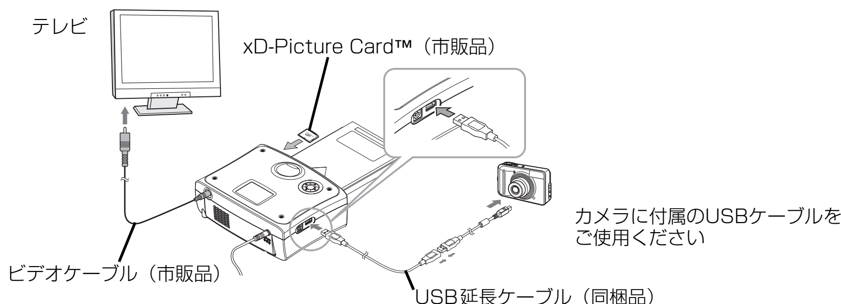
カメラと接続したまま証明写真をプリント（ダイレクトID）

カメラと接続したままで「撮影」→「プリント」→「撮影」と手間なくくりかえすことができます。

- カード内に「IP10DirectID」のフォルダー名がある場合、そのフォルダー内のファイルは消えてしまいます。
- 動作保証カメラ：FinePix S5Pro、FinePix S8000fd、FinePix S5800、FinePix F50fd、FinePix F480、FinePix A920
  ※その他のFinePixについてはダイレクトID機能が使えない機種があります。
  ※FUJIFILM FinePix以外のカメラでは、この機能を使うことができません。

本機をテレビに接続すると、テレビ画面で画像を確認することができます。

- 画像が映らない場合は、NTSC/PALの設定をしてください。→p. 16





- 同時に複数のカードを差し込まないようにしてください。
- 電源ボタンが点滅しているときは、xD-Picture Cardを取り出したり、プリンターの電源を切ったりしないでください。
- ダイレクトIDプリントのときは、必ずxD-Picture Cardを使用してください。
- xD-Picture Cardは市販のものを準備してください。

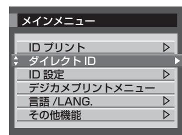
- 用紙とインクカートリッジをセットしておきます。→p. 7

1 本機の電源を入れる →p. 7

2 xD-Picture Card（市販品）をカードスロットに入れる

- 本機の電源ボタンの周りが速い青点滅を繰り返します。
  カードが正しくセットされると電源ボタンの周りが青点灯します。
- xD-Picture Cardはカードスロットから少しはみ出している状態となります。

3 [▲ ▼]で「ダイレクトID」を選択し、[▶]を押す



4 本機とカメラを接続する



- プリンターとカメラを接続するときは、USB延長ケーブル(同梱品)とカメラに付属のUSBケーブルの合計の長さが5mを超えない状態で使用してください。(5mを超えるとプリンターはカメラを認識しません)
- FinePix S5Proをご使用の場合、カメラのUSB設定で「PC SHOOT」が選択されていると接続できません。「MTP(PTP)」に切り替えてください。

5 カメラで撮影を行い、[MENU/OK]を押す

- 撮影推奨サイズ(ピクセル):2M
- 大きいサイズで撮影を行うと、手順7の画像取り込み時間が長くなります。

6 [▲ ▼]でお好みのサイズ/レイアウトを選択し、[▶]を押す



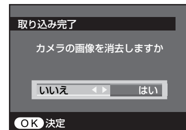
- 画像をxD-Picture Cardに取り込みます。
- サイズ/レイアウトの仕様はお好みに合わせて設定することができます。→p. 14

7 画像を取り込みます



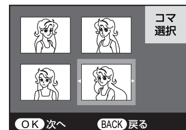
- ダイレクトIDで、xD-Picture Card(市販品)に一度に取り込める容量は16Mまでです。
- 点滅中にカードとUSBケーブルを抜かないでください。また、カメラの電源を切らないでください。

8 [◀ ▶]で「はい」を選択し、[MENU/OK]を押す



- 「いいえ」を選択すると、カメラの画像を消去しません。

9 [◀ ▶]でプリントする画像を選択し、[PRINT]を押す



- **[MENU/OK]**を押すと、画像の確認や顔の位置の微調整、特殊補正/加工をすることができます。→p. 10～11

10 [▲ ▼]でプリント枚数を指定する

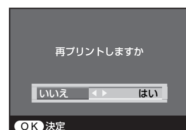


11 [PRINT]を押す

12 プリントが始まります

- 用紙が4回前後に往復し、用紙受け部(ペーパートレイの上)に用紙が排出されると、プリント完了です。
- プリント後は用紙のミシン目で切り離してください。

13 [◀ ▶]で「いいえ」を選択し、[MENU/OK]を押す



- 手順5に戻り、続けて次の撮影を行うことができます。
- 「はい」を選択すると、手順9に戻り、再プリントすることができます。

証明写真の設定

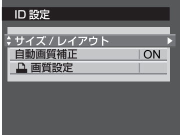
IDプリントについて、あらかじめお好みの設定に変更しておくことができます。
ID設定は、電源を切っても保持されます。

1 [▲ ▼]で「ID設定」を選択し、[▶]を押す



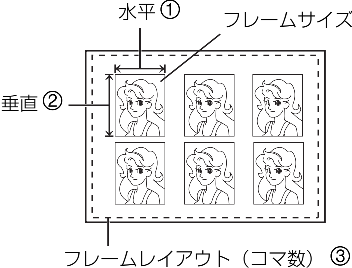
2 [▲ ▼]でID設定メニューを選択し、[▶]を押す

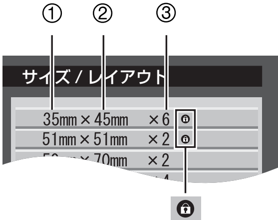
ID設定メニューについて（→下記）



ID設定メニューについて

■ サイズ/レイアウト





サイズ/レイアウト初期設定値

①	②	③
35	45	6
51	51	2
50	70	2
60	45	4
126	85	1
50	38	4

インチ／ミリメートル変換表

inch	mm
1	25
1 1/4	32
1 1/2	38
1 3/4	44

inch	mm
2	51
2 1/4	57
2 1/2	64
2 3/4	70

inch	mm
3	76
3 1/4	83
3 1/2	89
3 3/4	95

※少数点以下は四捨五入しています。

（鍵アイコン）：「35mmx45mm x6」および「51mmx51mm x2」は固定のため、サイズ・コマ数は変更できません。
「画像方向設定」「ガイドライン設定」については変更できます。

お好みのサイズ・コマ数・向きに設定することができます。
上記手順2のあと

❶ **[▲ ▼]** で設定したい項目を選択し、**[▶]** を押す
- 「35mmx45mm x6」および「51mmx51mm x2」は固定のため、サイズ・コマ数は変更できません。
選択すると、手順❹に進みます。



❷ **[▲ ▼ ◀ ▶]** で縦横のサイズを選択し、**[MENU/OK]** を押す（フレームサイズ）

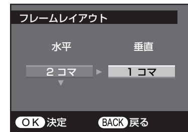
フレームサイズ設定範囲： 水平 20mm－126mm
垂直 20mm－94mm



● ただし縦横比が1:2以上には設定できません。

❸ **[▲ ▼ ◀ ▶]** で縦横のコマ数を選択し、**[MENU/OK]** を押す（フレームレイアウト）

● 1枚のプリントにレイアウト可能なコマ数までしか選択できません。



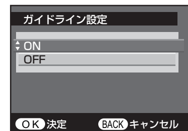
❹ 撮影の向きとカメラの向きを合わせるために **[◀ ▶]** で画像を回転し、**[MENU/OK]** を押す（画像方向設定）

左回転： **[◀]** を押す
右回転： **[▶]** を押す

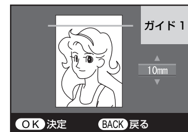


● フレームサイズを縦長にした場合は“頭が画面の上側”に、横長にした場合は“頭が画面の左側”にくるようにしてください。

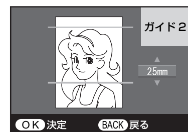
❺ **[▲ ▼]** で「ON」を選択し、**[MENU/OK]** を押す（ガイドライン設定）



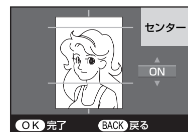
① **[▲ ▼]** でガイド 1 の位置を設定し、**[MENU/OK]** を押す



② 同様にガイド 2 の位置を設定し、**[MENU/OK]** を押す



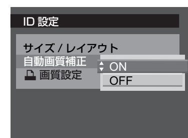
③ **[▲ ▼]** で「ON」を選択し、センターラインを設定する



■ 自動画質補正

自動で画質補正をおこないます。
14ページ手順2のあと

❶ **[▲ ▼]** で「ON/OFF」を切り替え、**[MENU/OK]** を押す



■ 画質設定

画像をお好みの明るさや鮮やかさに色合いを設定することができます。
この設定は、全画像に反映されます。

14ページ手順2のあと

❶ **[▲ ▼]** で補正したい内容を選び、**[◄ ►]** で調整する
● 設定項目の詳細は、「画像補正」と同じです。→p. 11



◆ **設定の初期化について**

上記で変更したプリンター画質設定を初期化することができます。
① **[▲ ▼]** で「初期化」を選び、**[▶]** を押す
② **[◄ ►]** で「はい」を選択し、**[MENU/OK]** を押す





● 「サイズ/レイアウト」、「画質設定」には画像の入ったメモリーカードが必要です。

その他の設定について

■ **言語/LANG.**
メインメニューの「言語/LANG.」を選択すると、画面に表示される言語を変更することができます。

■ **ビデオ出力**
メインメニューの「その他の機能」を選択し、ビデオの出力形式「NTSC/PAL」を設定します。

■ **累計プリント枚数**
メインメニューの「その他の機能」を選択すると、累計プリント枚数を確認することができます。

詳しくは、取扱説明書（PDF）の38～39ページ「その他の設定について」をご覧ください。

できることいろいろ

◆ **カメラや携帯電話からワイヤレスプリント** →取扱説明書（PDF）の43ページ
◆ **カメラとUSB接続してプリント** →取扱説明書（PDF）の46ページ
◆ **メモリーカードからデジカメプリント** →取扱説明書（PDF）の48ページ
◆ **パソコンからプリント** →取扱説明書（PDF）の62ページ

エラーについて



● インクリボン、または用紙切れの際は、電源ボタンが低速で点滅します。新しいインクカートリッジ、または用紙を入れてください。
● プリンター内部に用紙が詰まった場合、電源を入れなおすと排除されます。
● その他トラブルの場合、一度コンセントを抜いて、10 秒後に再度コンセントを差し電源を入れなおしてください。それでも解決しない場合は、取扱説明書（PDF）をご覧ください。

MEMO

MEMO

日本での問い合わせ先

本製品のお問い合わせ先

富士フイルムFinePixサポートセンター
TEL 042-481-1673

固定の一般電話からはこちらもご利用いただけます。

ナビダイヤル 0570-00-1060
＊全国どこからでも市内通話料金でかけることができます。
＊携帯電話、PHSなどからはご利用いただけません。

月曜日～金曜日　午前9:00～午後5:40　土曜日　午前10:00～午後5:00
（日・祝日・年末年始を除く）

● 富士フイルム製品のお問い合わせ先

お客様コミュニケーションセンター - - - - - TEL（03）5786-1711
（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）

修理のご相談窓口

富士フイルム修理サービスセンター

ナビダイヤル  **0570-00-0081**
呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

／ PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は **0228-35-3586**

月曜日～金曜日 午前9：00～午後5：40　土曜日 午前10：00～午後5：00　日・祝日・年末年始を除く

FAX **0570-06-0070**
受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

修理品お持込窓口

全国６箇所のサービスステーション（東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・福岡）でも修理をお受けします。

※ サービスステーションにつきましては、当社ホームページ http://fujifilm.jp/ をご確認ください。
※ サービスステーションの住所、電話などは変更となることがあります。あらかじめ当社ホームページもしくは、富士フイルム修理サービスセンターにご確認の上、お持込ください。

PRINTED IN CHINA